

## なすのそら保育園

園児数	内容区分 (あてはまるものすべてに○を記入)
101名	(○) 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 (○) 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 ( ) 季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成 (○) 体づくりに関する家庭との連携 (○) 教職員の資質向上のための取組

### 1 ねらい

- (1) 日常的に運動の機会や場をつくることで、心身の活性化を図り、元気に生活を送れる子を育む。
- (2) 運動遊びを多く取り入れることで、体を動かすことを自然に楽しめる子の育成を図る。
- (3) 子どもが生活と遊びの中で、運動に継続的に取り組むことにより心と体の調和的発達を促す。
- (4) 幼児期における運動習慣形成の重要性について、保護者の意識向上、保育士の資質向上を図る。

### 2 実施内容

#### (1) 体操集会

- 毎週、月・水・金曜日の9時30分より、幼児クラスが園庭で体操を行う。
  - ♪ 那須町こども体操「なすの森でぼうけんだ」
  - ♪ 「パイナップル体操」
  - ♪ 「しゅりけんにんじゃ」
  - ♪ 「ジャンボリーミッキー」
  - ♪ 「ぼくたちぶどう」 等

#### (2) うんどうあそび教室 (対象：年中児、年長児)

- こども未来課(町教委) 深沢指導主事による「うんどうあそび教室」を実施
  - ・年長児(年2回)、年中児(年2回：うち1回は親子で) 計4回 実施
  - ・親子の回には、後半に保護者対象のミニ講話を実施(30分程度)
  - ・子どもたちの「またやりたい!」、保育士の「活用しやすい!」につながる内容で
  - ・新聞紙、なわ、ボール等を使い「走る・跳ぶ・投げる」につながる多様な動きを中心に

#### (3) 各クラスでの日常的な運動遊び

##### そら組(年長児)

- ・縄跳び ・サーキット遊び(平均台、鉄棒、フープを使ったケンケンパ)
  - ・ボール遊び(ドッチボール、サッカー) 等
- ⇒ 上記の多様な運動を日頃から行い、運動会の親子競技にも取り入れた。  
 継続して取り組むことにより、体づかいが良くなり、身体バランスが良くなってきた。

##### たいよう組(年中児)

- ・ボール遊び(ボールキャッチ、ボール蹴り)
  - ・かけっこ、スキップ、手押し車、ほふく前進、大根抜き
  - ・用具や器具を使った遊び(サーキット遊び、バランスストーン、トランポリン、鉄棒、長なわ)
- ⇒ 上記の様々な遊びを経験することにより、積極的に体を動かすことを楽しんでいる。

#### つき組（年少児）

- ・動物なりきり遊び、リズム遊び、ボール遊び

⇒ 主に上記の遊びを楽しんでいき、幼児期に経験させたい多様な動きを取り入れている。

#### ほし組（2歳児）

- ・用具を使った遊び：ボール遊び、アスレチック（はしご上り、ボルダリング）、鉄棒ぶら下がり
- ・身体を使った遊び：まねっこ（動物の歩き遊び）、かけっこ、しっぽ取り、グージャンプ

#### にじ組（1歳児）

- ・マット山登り、築山登り、ビニールボール遊び

#### うみ組（0歳児）

- ・風船ジャンプ、ブロック積み上げ、布団で山登り
- ・室内用（ジャングルジム、ブランコ、サーキット遊び）

- 安全な環境、用具
- 安心感のあるかかわり
- 好奇心をくすぐる工夫

### 3 主な成果（箇条書きで簡潔にまとめる。）

- 体操集会で曲に合わせてリズムカルに体を動かすことを続けてきたことで、子どもたちが楽しい気持ちで自然と体を動かす心地よさを味わいながら、体づくり・体力向上に繋がっている。
- 「運動遊び教室」を実施したことにより、様々な道具を使ったり、動きのアレンジやバリエーションを加えたりする指導者側の工夫を保育士自身が学び取り、日常の保育の中で生かしやすくなった。また、指導の工夫から子どもたちの興味・動きの幅が広がることで、新たな成長を見出すことができ、より認める・褒める場面が増えた。
- 年中親子を対象とした「親子運動遊び+ミニ講話」では、親子でふれあいながら一緒に体を動かす楽しさを共有することができた。また、保護者向け講話を設けたことで、保護者が県教委「雷ジングひろば」や日本スポーツ協会「ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）」のサイトを知り、家庭でもできる体力づくりを啓発し、事後も家庭で意識していただくことができた。
- 子どもたちの興味、発達の段階、体力に合った運動遊びを経験することで、体を動かすことがより好きになり、運動を「楽しみ！」と言える子が増えた。個人内評価の視点で見ると、一人一人の運動機能が高まったことを実感する。
- 友達と一緒にルールのある遊びを楽しむことやある程度の競い合いがあることで、子どもたち同士のつながりや人間関係、社会性を築くきっかけとなっている。
- 体力づくりにつながる環境設定の工夫など、保育士がお互いに運動遊びについて保育の話題にすることが増え、発達の段階や安全に配慮した体力づくりに生かされている。

4 資料

(1) 体操集会



お天気の日には、  
園のみんなで！ 園庭で！

(2) うんどうあそび教室



新聞紙ボールから  
しわくちゃボールへ！  
投げやすい！痛くないね！

れっしゃしっぽとり！  
仲間のしっぽを守って、  
相手のしっぽをねらって！

ラバーマーカーは  
滑らず安心。  
ねらってジャンプ！



(3) 各クラスでの日常的な運動遊び

身体をつかった  
いろんな遊びを取  
り入れています♪



0 歳児「山登り」



1 歳児「マットの山登り」



2 歳児「ツイスターゲーム」



3 歳児ボール遊び



4 歳児サーキット遊び



5 歳児転がしドッジボール